



王 ち

山 ま

古 こ

墳 づ

群 る





## おうざんこふんぐん じだい 王山古墳群の時代

さばえだいちなんたん いち ちゅうしんねんだい  
 鯖江台地南端に位置する「王山古墳群」の中心年代は  
 やよいじだいちゅうきまつ こふんじだいぜんき きげんぜん せいき  
 弥生時代中期末～古墳時代前期（紀元前1世紀～4  
 せいき ちゅうごく れきししよ せいき ころ  
 世紀）です。中国の歴史書によると1世紀頃の日本  
 （当時は「倭」と呼ばれていた）は100余りの小さなク  
 ニに分かれていましたが、2世紀後半に大きな戦乱が  
 あり、3世紀には30余りのクニにまとまるとされ  
 ます。つまり、王山に墳墓や古墳が造られた時代は  
 ちいき どうこう げきどう じだい  
 地域が統合されていく激動の時代でした。



## たんなんちいきさいだいきゅう やよい ふんぼ ころふん 丹南地域最大級の弥生墳墓 - 王山40号墳 -

弥生時代中期末（1世紀頃）の  
 ほうけいしゅうこうぼ きほ どうざい  
 方形周溝墓。規模は東西 23.5m  
 なんぼく すいてい  
 ×南北 21m、高さは推定で 3m  
 とみられ、埋葬施設は保存のため  
 まいそうせつ ほそん  
 未調査です。丘陵の最高所  
 みちようさ きゅうりょう さいこうしよ  
 に位置する王山で最大・最古の  
 いち さいだい さいこ  
 墳墓で、墓地形成のきっかけと  
 ぼ ちけいせい  
 なった盟主的墳墓とみられます。  
 めいしゅてきふんぼ



整備された40号墳



40号墳から出土した高環の脚部

## たちいき こうりゅう 他地域との交流

しゅつど やよいじだいこうき ど き ほくりくちほうざいらい いがい げんざい しがけん おうみ あいちけん おわり  
 出土した弥生時代後期（2～3世紀ごろ）の土器には、北陸地方在来の土器以外に、現在の滋賀県（近江）や愛知県（尾張）で



尾張系の土器



近江系の土器



出土する土器と同様の 特徴 を持つものが  
 あります。このことは王山に 葬られた人  
 物や葬儀に参列した人々が、それらの地域  
 と深い関係にあったか、そこからやって来  
 た人々であったことを物語っています。

## さまざま ふくそうひん 様々な副葬品

しょうわ はくつちようさ てっけん てつがま  
 昭和40年の発掘調査では墳墓・古墳の埋葬施設が調査されました。特に古墳時代前期の31号墳からは鉄剣・鉄鎌・  
 てつそく や てつが うすだま おお ふくそうひん ※  
 鉄鏃（矢じり）・鉄斧・白玉など多くの副葬品が出土しました。

※土器や副葬品の一部は、まなへの館で展示しています



鉄剣



鉄鎌



鉄鏃



鉄斧



白玉



## 王山古墳群のいろんな顔 さばえ さいこ しゅりょうどうぐ - 鯖江最古の狩猟道具ほか -

25号墳では、鯖江で最も古い遺物である有茎尖頭器ゆうけいせんとうき じょうもんじだい そうそうき（縄文時代草創期・約13,000年前）が出土しています。木の柄に取り付けられた石器せつき ゆみや ふきゅう いぜん しゅりょうどうぐ もちで、弓矢が普及する以前から狩猟道具として用いられました。古墳が造られるはるか昔けものに 獣を追って王山か かりゅうどを駆けた狩人がいたのには

おどろきです。このほか21号墳では石塔せきとう えちせんやき かまくら むろまちじだいや越前焼ちくそう（鎌倉～室町時代）が確認されており、古墳の築造が終わってもなお“墓地”として利用されたことがわかります。



有茎尖頭器



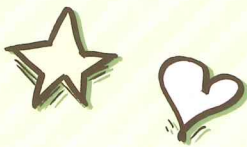
越前焼



石塔(五輪塔の一部)



21号墳上で発見された集石群(お墓)



## 鯖江(さばえ)の起源 さばえ きげん でんせつ - サバヤ伝説 -

すでに触れたように王山に墳墓や古墳が造られた頃はムラからクニへ、クニから国へと統合されていく時代でした。なかでも最も強大であったのが大和地方やまと ちほう なら ほんち（奈良盆地）のヤマト王権おうけんで、彼らが次第に地方へと勢力を伸ばしていった様子が

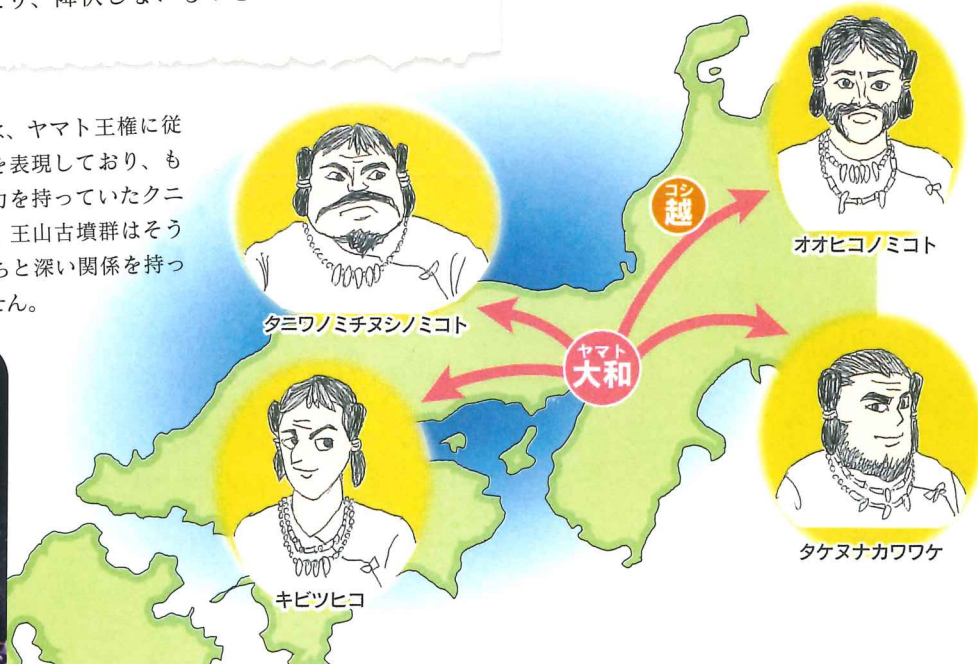
『古事記』や『日本書紀』などに表現されています。これらに取材したとみられる『舟津社記』にも平定の様子を記した興味深い記事があり、一説にはこれに登場する「佐波之矢」が転化して「サバエ」と呼ぶようになったといわれています。

- 「崇神天皇の時代、大彦命オオヒコノミコトを北陸に遣わし、武渟川別つか タケヌナカワケを東海に遣わし、吉備津彦キビツヒコを西道に遣わし、丹羽道王命タニワノミチヌシノミコトを丹波に遣わした。そして、「従わない者があれば、ただちに戦争を起こして討伐せよ」と仰せられた。こうして、ともに印綬を賜って將軍に任命した。」（日本書紀）
- 「大彦命が深江おうざんの逢山で神に祈ると、空から佐波之矢さばのやが落ちてきて賊の大將あつしに当たり、降伏しないものをことごとく平定した」（舟津社記）

※ここでいう「賊」とは、ヤマト王権に従わなかった地方勢力を表現しており、もともと鯖江台地に勢力を持っていたクニの王と考えられます。王山古墳群はそうした王やその祖先たちと深い関係を持っているのかも知れません。



佐波之矢のシーン(王山演劇「サバイ国の栄光」より)



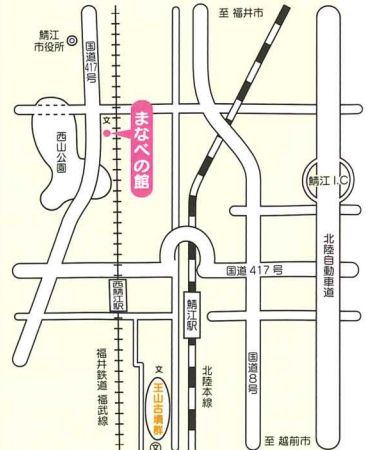


## 基本データ

名称	王山古墳群 (おうざんこふんぐん)
所在地	福井県鯖江市日の出町
時代	弥生時代中期末～古墳時代中期 (おおよそ 1 世紀～5 世紀ころ)
指定	国指定史跡
形状	方墳 (弥生墳墓)・円墳
概要	史跡指定面積は 34,247.40 m <sup>2</sup> 。標高 66m の独立丘陵「王山」に立地し 54 基の墳墓・古墳が確認されています。方形周溝墓や古墳が連綿と造られており、王山周辺にあったムラの有力者や指導者、地域を統率した王たちの墓と考えられています。また一部では平安時代 (9～11 世紀) の土器や鎌倉時代～室町時代 (12～16 世紀) の石塔や陶器が出土しており、古墳を再利用して墓を造っていることが確認されています。
アクセス	JR 北陸線鯖江駅より徒歩 15 分、福井鉄道西鯖江駅より徒歩 10 分



**古墳群見学  
散策のポイント**  
※おおよそ30～40分で  
園路を一周できます



<発行元・お問い合わせ先>  
**鯖江市教育委員会文化課**

福井県鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市まなへの館内  
TEL : 0778-51-5999 Eメール : sc-bunka@city.sabae.lg.jp